資料6

岩木川水系河川整備計画【大臣管理区間】

再評価

平成１９年１２月

東北地方整備局

事業評価実施要領及び細目について

『国土交通省所管公共事業の再評価実施要領』 第６　６項

H15.3.31　国土交通事務次官通知

　河川事業、ダム事業については、河川整備計画策定後、計画内容の点検のために学識経験者等から構成される委員会等が設置されている場合は、事業評価監視委員会に代えて当該委員会で審議を行うものとする。

『河川局所管公共事業の再評価実施要領細目』 第６

H16.3.30 国土交通省河川局長通知

　実施要領　第６の６の規定に基づいて審議が行われた場合には、その結果を事業評価監視委員会に報告するものとする。

岩木川水系流域委員会規約（抜粋）

第2条（目　的）

この委員会は、国土交通省東北地方整備局が作成する「岩木川水系河川整備計画」（大臣管理区間）並びに青森県が作成する「岩木川水系河川整備計画」（指定区間）の素案について意見を述べるとともに、河川整備計画策定後の各種施策の進捗に関して意見を述べるものとする。また、河川整備計画に基づいて実施される事業のうち、再評価、事後評価の対象事業の評価を行い、東北地方整備局長及び青森県知事に対し意見を述べるものとする。

河川整備基本方針：平成17年4月15日決定

河川整備計画：平成19年3月30日策定

「岩木川河川整備委員会」委員名簿

	氏　名	所　属　等
1	小笠原　暠	秋田大学　名誉教授
2	川口　紘	前　弘前工業高等学校　教諭
3	北原　啓司	弘前大学教育学部　教授
4	工藤　明	弘前大学農学生命科学部　教授
5	佐々木　幹夫	八戸工業大学環境建設工学科　教授
6	佐原　雄二	弘前大学農学生命科学部　教授
7	関　和典	西目屋村　村長
8	相馬　錩一	弘前市　市長
9	田中　重好	名古屋大学大学院環境学研究科　教授
10	成田　静雄	青森県内水面漁業協同組合連合会　副理事長
11	鳴海　広道	黒石市　市長
12	新戸部　満男	弘前商工会議所　会頭
13	原田　幸雄	弘前大学　名誉教授
14	福士　憲一	八戸工業大学環境建設工学科　教授
15	盛　貢	岩木川地区土地改良区連合　理事長

計　15名

敬称略、50音順

岩木川水系河川整備計画（大臣管理区間）　事業の再評価

【治水事業の概要】

実施年度　　H19～H48年度（予定）※津軽ダムはS63年度から

事業費　　約2，050億円

費用対効果（B/C）　1．27

○河川改修事業

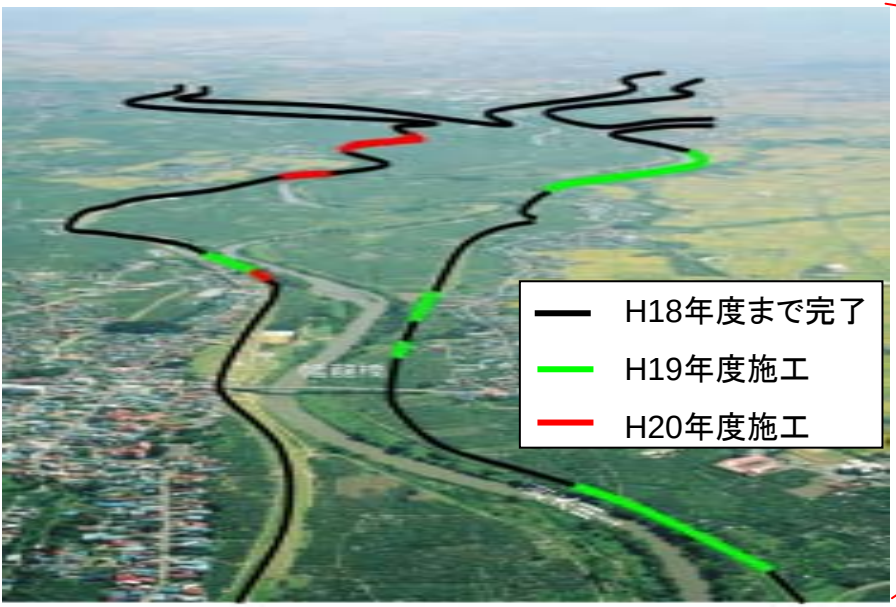
堤防の整備（量的・質的）、河道掘削等）

○洪水調節施設の整備

津軽ダムの建設（流水の正常な機能の維持も含む）

○河川管理施設の維持管理

河川管理施設の機能の維持・向上と運用、
河川情報の整備・高度化、河川状況把握の強化等



中流部堤防整備状況



岩木川水系河川整備計画（大臣管理区間）　事業の再評価

【津軽ダム建設の概要】

実施年度　昭和63年～平成28年度（予定）
事業費　　約1,620億円
費用対効果（B/C）　1．30



○建設位置
- 青森県中津軽郡西目屋村
- 岩木川水系岩木川

○ダムの目的
- 治水（洪水調節）
- かんがい用水
- 流水の正常な機能の維持
- 水道用水の供給（弘前市）
- 工業用水の供給（五所川原市）
- 発電用水の供給

○津軽ダム諸元

- 形　　式　：重力式コンクリートダム
- 堤　　高　：　97.2m
- 堤 頂 長　：　342m
- 総貯水容量：140,900千m3
- 堤 体 積　：　704千m3
- 流域面積　：　172km2

平成１９年９月４日

東北地方整備局長
　　坪香　伸　　殿

岩木川河川整備委員会
委員長　佐々木　幹夫

岩木川水系河川整備計画（大臣管理区間）の事業再評価について（意見）

岩木川水系河川整備計画（大臣管理区間）の事業再評価について、岩木川河川整備委員会として意見をとりまとめたので別紙のとおり提出する。

岩木川水系河川整備計画の再評価について
（第６回 岩木川河川整備委員会）

日　時：平成19年 9月 4日（水） 10:00～

場　所：弘前プリンスホテル　孔雀の間

①　治水事業の事業再評価について

・事業継続は妥当である。

②　津軽ダム建設事業の事業再評価について

・事業継続は妥当である。